

# 平成 30 年度 加賀市当初予算概要

H30.2.16 予算説明会

この資料中、「前年比」は前年度当初予算比を表します。

## 1 全会計の予算総額 649 億 9,700 万円 (前年比 △7 億 1,750 万円 △1.1%)

平成30年度の加賀市当初予算は、国民健康保険特別会計を除くすべての会計において増額となっているが、国民健康保険特別会計においては、県が財政運営の主体となる制度改正により、予算規模が大きく減額（前年比 △21 億 1,070 万円）となることから、全会計の予算総額は、前年比で 1.1%減少している。

## 2 一般会計予算 316 億 4,000 万円 (前年比 +5 億 4,000 万円 +1.7%) <地方財政計画の伸び率 0.3%>

一般会計では、(仮称)橋立自然公園健康グリーンパーク整備費(+2 億 3,480 万円)や小中学校施設整備費(+1 億 4,250 万円)などの事業費の増加を始めとし、継続して実施する「スマート加賀IoT推進事業」、「小中学校におけるプログラミング教育」、「移住定住促進事業」及び「かがかっこ応援プロジェクト」の実施などに積極的に取り組むこととし、予算規模は+1.7%増加している。

主な歳入	(予算額)	(前年比)	(主な増減理由)
① 市 税	89 億 40 万円	(△ 0.8%)	固定資産税において資産価格を見直す「評価替え」により、家屋における評価額の下落に伴い減少
② 地方譲与税及び交付金	19 億 9,200 万円	(+ 2.7%)	地方財政計画に基づく見込額の増加
③ 地方交付税	74 億 3,900 万円	(+ 4.1%)	市税及び臨時財政対策債の減少に伴う普通交付税の増加
④ 国庫支出金	49 億 3,611 万円	(+ 5.3%)	再編関連訓練移転等交付金の皆増、障がい者自立支援給付費負担金の増加
⑤ 県 支 出 金	19 億 7,581 万円	(+ 3.9%)	障がい者自立支援給付費負担金、国民健康保険事業費負担金の増加
⑥ 繰 入 金	13 億 1,009 万円	(+ 25.2%)	まちづくり振興基金繰入金、減債基金繰入金、他会計繰入金の増加
	(うち、財政調整基金の取り崩し 5 億 9,000 万円 (+ 0.3%) ※ H29 当初予算 5 億 8,800 万円)		
⑦ 市 債	37 億 6,884 万円	(△ 3.3%)	借換債の減少
	(うち、臨時財政対策債 11 億円 (△ 15.4%))		

## 主な歳出

	(予算額)	(前年比)	(主な増減理由)
① 人件費	46億9,902万円	(+ 0.2%)	平成29年度人事院勧告に伴う職員給与費等の増加
② 扶助費	70億4,238万円	(+ 3.3%)	障がい者福祉扶助費、私立保育園運営助成費の増加
③ 公債費	38億6,648万円	(△ 9.3%)	借換債の減少
④ 物件費	48億7,999万円	(+ 3.7%)	建築確認に係る権限委譲に伴う事務費の増加、電算機器管理費の増加
⑤ 補助費	17億7,089万円	(+ 5.5%)	若年層定住住宅取得助成費、第2子給食費無料化助成、移住住宅取得助成費の増加
⑥ 繰出金	43億8,318万円	(+ 0.2%)	病院事業会計繰出金の増加
⑦ 投資的経費	36億972万円	(+ 13.7%)	(仮称)橋立自然公園健康グリーンパーク整備費、消防片山津分署耐震改修事業費、こおろぎ橋架替事業費の増加

## 3 特別会計予算(6会計) 163億2,030万円 (前年比 △18億5,110万円 △10.2%)

### (1) 国民健康保険特別会計 75億6,870万円 (前年比 △21億1,070万円 △21.8%)

県が財政運営の主体となる制度改正により、共同事業分(県内市町の国民健康保険特別会計間の負担を平準化する事業)に係る負担金の計上が不要となることから、予算総額が減額となる。

一人当たり給付費は伸びを見込むが、被保険者数が減少するため、保険給付費は13.2%の減少を見込む。

### (2) 後期高齢者医療特別会計 9億3,720万円 (前年比 +8,890万円 +10.5%)

被保険者数の増加(H29 11,600人⇒H30 11,800人+200人)などに伴い、後期高齢者医療保険料収入及び広域連合への納付金の増加を見込む。

### (3) 介護保険特別会計 74億2,350万円 (前年比 +8,720万円 +1.2%)

第7期介護保険事業計画(H30から3か年)の初年度となり、保険料の改定を行う。(介護保険事業調整基金からの繰入れにより改定幅を抑え、保険料基準額を月額5,900円から月額6,300円に改定)

介護報酬の改定に伴う介護給付費の増加により、全体的な増加を見込む。

(4) 加賀山代温泉財産区特別会計 1 億 2,850 万円 (前年比 +250 万円 +2.0%)

「総湯」・「古総湯」の利用促進を図りながら、引き続き管理運営事業を行う。

(5) 加賀山中温泉財産区特別会計 1 億 6,250 万円 (前年比 +420 万円 +2.7%)

源泉の配湯事業を行うとともに「菊の湯」の利用促進を図りながら、引き続き管理運営事業を行う。

(6) 土地区画整理事業特別会計 9,990 万円 (前年比 +7,680 万円 +332.5%)

橋立土地区画整理事業において、保留地全部の売却（(仮称)橋立自然公園健康グリーンパーク用地として一般会計へ売却）により保留地処分金が増加する。

長谷田西土地区画整理事業においては、引き続き保留地の売却促進を図る。

#### 4 企業会計予算（3会計） 170 億 3,670 万円 (前年比 +5 億 9,360 万円 +3.6%)

(1) 病院事業会計 86 億 8,730 万円 (前年比 +3 億 1,450 万円 +3.8%)

医療センターの運営により、安定した地域医療の推進を図る。平成 30 年度からは、新たに訪問看護サービスを開始する。

(2) 水道事業会計 40 億 8,640 万円 (前年比 +1 億 8,960 万円 +4.9%)

老朽管更新及び配水管施設の整備事業を推進する。また、下水道事業とともに漏水による復旧工事管理や給水装置受付業務の民間委託を開始し、業務の効率化を図っていく。

(3) 下水道事業会計 42 億 6,300 万円 (前年比 +8,950 万円 +2.1%)

片山津処理区（打越町・高塚町など）及び大聖寺川処理区（作見町・大聖寺西町・山中温泉長谷田町など）の管渠築造事業を推進する。また、三木地区の農業集落排水事業を推進する。